

平成 26 年度  
東京藝術大学大学院  
美術研究科（修士課程）第二期選抜試験

専攻：工芸 研究分野：染織

専攻別筆答試験

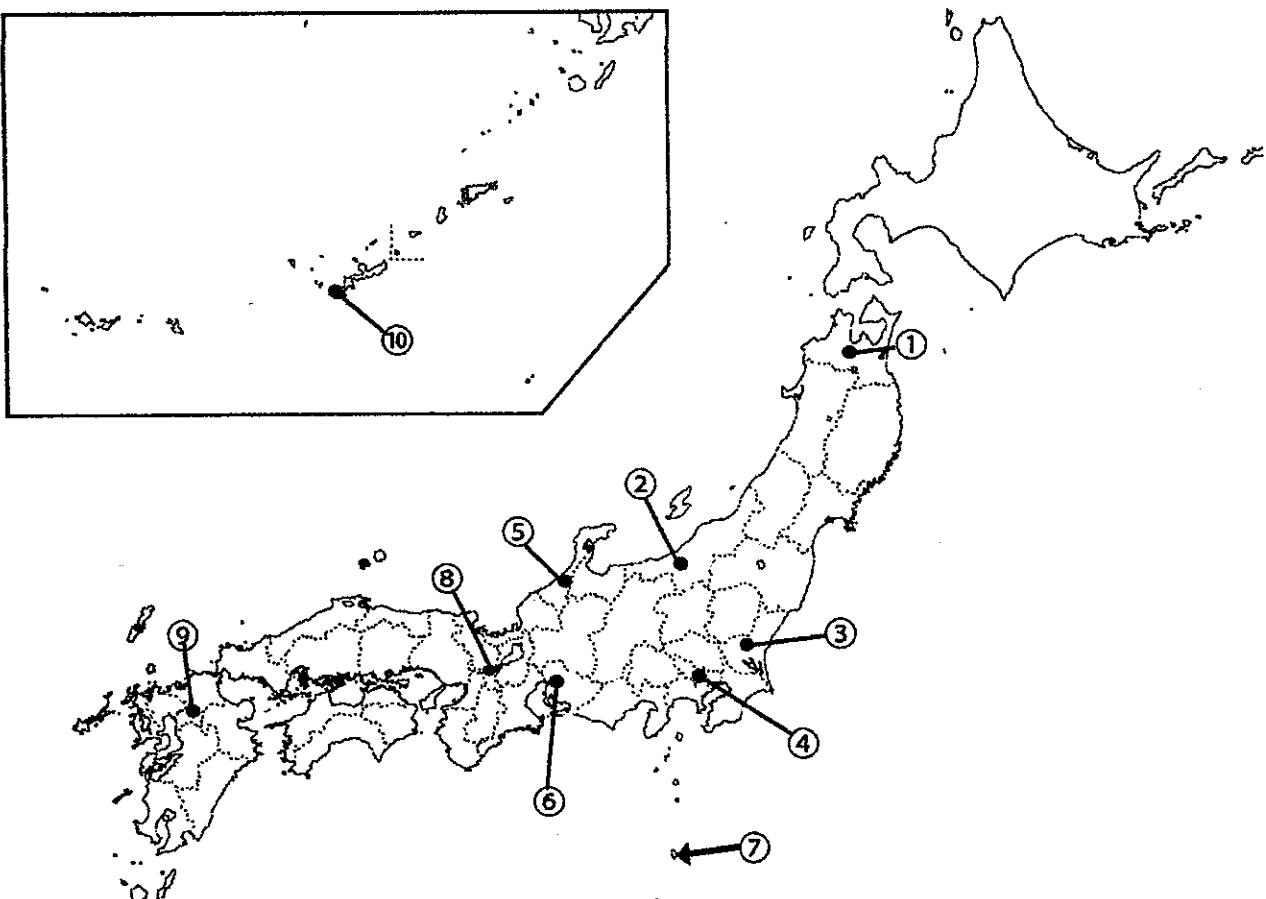
試験日時：平成 26 年 2 月 13 日（木）

10：00～11：30

受験番号	
------	--

問1 下の地図中の①～⑩は、日本を代表する染織品の産地である。

それぞれに該当する染織品を選択肢A～Pの中から選び、下の解答欄に記入しなさい。



選拔肢

- A. 伊予絣・弓浜絣 B. 優佳良織 C. 久留米絣 D. 琉球紅型 E. 会津木綿 F. 赤穂段通 G. 越後上布 H. 西陣織  
 I. 大島紬 J. 黄八丈 K. しじら織 L. 結城紬 M. 有松紋り N. 加賀友禅 O. 津軽こぎん刺し P. 江戸小紋

解答欄

問2 天然繊維は大きく3種類に分類されるが、植物繊維と鉱物繊維ともう一つは何繊維か答えなさい。

問3 植物繊維は、種子毛繊維・韌皮繊維・葉脈繊維に分けられるが、木綿と苧麻はどれに属するかそれぞれ答えなさい。

木綿：	苧麻：
-----	-----

問4 「日光堅牢度」の意味を簡単に答えなさい。

問5 「o.w.f.」は何の略か英語で記入し、又どのような意味か答えなさい。

英語：	意味：
-----	-----

問6 イギリスで発見された世界初の合成染料の名称を答えなさい。

問7 全ての染料は色素を持ちますが、それだけでは染着は行われません。繊維と結びつくためには何を持つ必要があるか答えなさい。

問8 天然藍に含まれる藍色素の成分は何か答えなさい。

問9 酸性染料での染色に適している繊維名を一つ答えなさい。

問10 直接染料での染色に適している繊維名を一つ答えなさい。

問11 繊維を面にしていく技法で、織り以外の技法名を二つ答えなさい。

--	--

問 12 繊維は、それぞれに電荷を帶びていますが、静電気が最も起りやすい組み合わせを記号で選びなさい。

- A.アクリルとウール
- B.アクリルとポリエステル
- C.ナイロンとウール

問 13 人造繊維のうち分子量の小さな化合物から合成したものを「合成繊維」といいますが、天然繊維を溶解し紡糸して作った繊維の総称を答えなさい。

問 14 天平の三纈を全て答えなさい。

--	--	--

問 15 古代エジプトで A.D. 3 ～ 8 世紀頃に盛んに作られた綴織の染織品の名称を答えなさい。

問 16 インドネシア地域で民族衣裳として使われている動物文様などを含む複雑な図柄の染織品の名称を答えなさい。

問 17 15世紀フランスにあった染織工房が名前の由来となったタペストリーなどの綴織の染織品の名称を答えなさい。

問 18 精練は何の為に行う工程か簡単に説明しなさい。

問 19 型染めに使用する糊に適している主原料を二つ答えなさい。

--	--

問 20 型紙の保護、またはツリの代わりに型紙に貼る網目状の生地の名称を答えなさい。

問 21 紅型の工程の中でホルマリンを使用する場合、どのような目的で使用するのが適当か答えなさい。

問 22 引き染めをする際に、生地を染色しやすく張る為の道具の名称を二つ答えなさい。

問 23 糸目糊置きをする際に、筒皮の先の内側と外側に付ける金属製の道具の名称をそれぞれ答えなさい。

問 24 スクリーン捺染で布を染める際、布の上に置いたスクリーン枠内の色糊を均一に引くための道具の名称を答えなさい。

問 25 直接感光製版で使用する感光乳剤は、何に反応して固まるか答えなさい。

問 26 アルギン酸ソーダの主な原材料はどんなものか答えなさい。

問 27 苛性ソーダは、酸性・中性・アルカリ性のどれにあたるか答えなさい。

問 28 糸の浸染において、酸性染料の促染剤として適している助剤の名称を一つ答えなさい。

問 29 三原組織を全て答え、それぞれの完全組織図も描きなさい。

組織名 :	組織名 :	組織名 :
完全組織図	完全組織図	完全組織図

問 30 次の織りの工程「タイアップ」「簇通し」「整経」「まきとり」「綜続通し」を製織に適當と思われる順番に並べかえ、それぞれの工程を簡単に説明しなさい。

工程	説明
①	
②	
③	
④	
⑤	

問31 表の①～⑩は染色工程において使用される材料または助剤である。どのような用途があてはまるかA～Jの中から最も適当なものを選び記号で答えなさい。

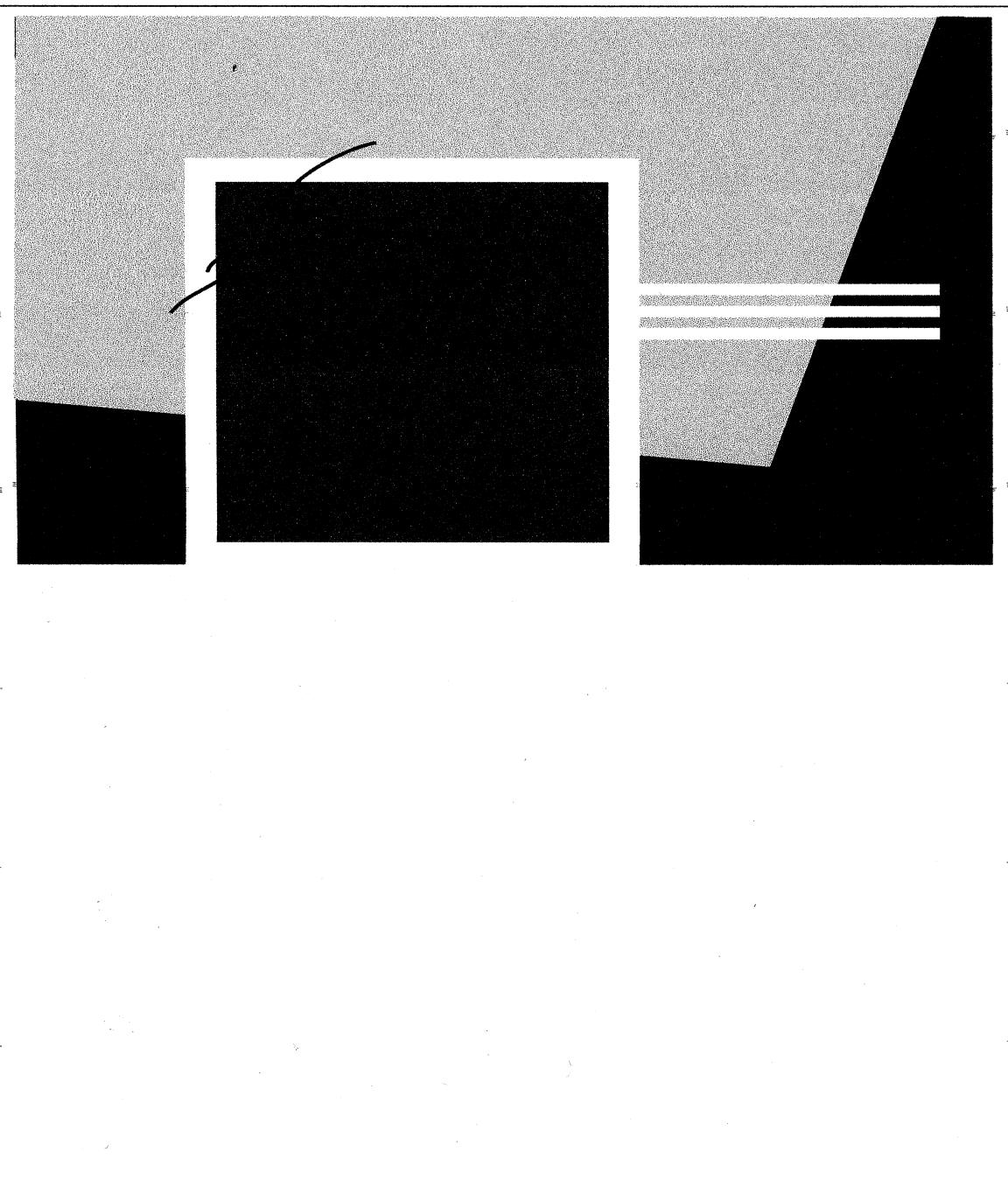
選挾肢

A.還元防止剤	F.浸透剤
B.還元漂白剤	G.染料溶解剤
C.酸化漂白剤	H.脱ロウ剤
D.木綿・麻の精錬	I.防染剤
E.木綿・麻の染着促進剤	J.捺染の元糊

①尿素		⑥ハイドロサルファイト	
②ポリミンL		⑦アルギン酸ソーダ	
③ロート油		⑧苛性ソーダ	
④無水芒硝		⑨過酸化水素	
⑤パラフィン		⑩パークロールエチレン	

問32 「あなたの作品と染織技法との関係」について、200字程度で説明しなさい。

問33 下の図は、シルクスクリーン技法での制作予定作品(H.900 mm×W.1600 mm)のデザインである。これについて、構成と色彩の観点から検討すべき箇所を抽出し、あなたの考える改善策をわかりやすく図解等を用いて説明しなさい。  
※図の中に指示を書いても構わない。



平成 26 年度

東京藝術大学大学院

美術研究科（修士課程）第二期選抜試験

専攻：工芸 研究分野：染織

専攻別実技試験

試験日時：平成 26 年 2 月 13 日（木） 11：00～16：00

### 問題

くだもの（りんご・いちご・レモン・バナナ）と直線  
をモチーフに着物のデザインをしなさい。

### 条件

- ◆ 色彩計画が分かる程度に彩色したアイデアを 6～12 個、左枠内に貼りなさい。
- ◆ 右枠内には、アイデアから 1 つ選び細部まで分かる様に彩色しなさい。
- ◆ モチーフは、一つのアイデアに何種類使用しても構わない。
- ◆ モチーフは、加工しても構わないが食してはいけない。
- ◆ 彩色の仕方は自由であるが、与えられた絵の具のみを使用すること。
- ◆ 彩色していない部分は、白場と判断する。